

【事業内容】 ※協力隊に成し遂げてほしいこと。

① ワークーション受入態勢整備及び事業促進

- ・ 快適なワークーション機能の環境整備及び事業促進
- ・ 南三陸ならではのバケーション（休暇）につながる地域資源の掘り起こし及び地域の受入態勢整備
- ・ リモートワークによる二拠点生活（移住）を想定した環境づくり

② 学校、企業、地域が運動する交流型振興事業の促進

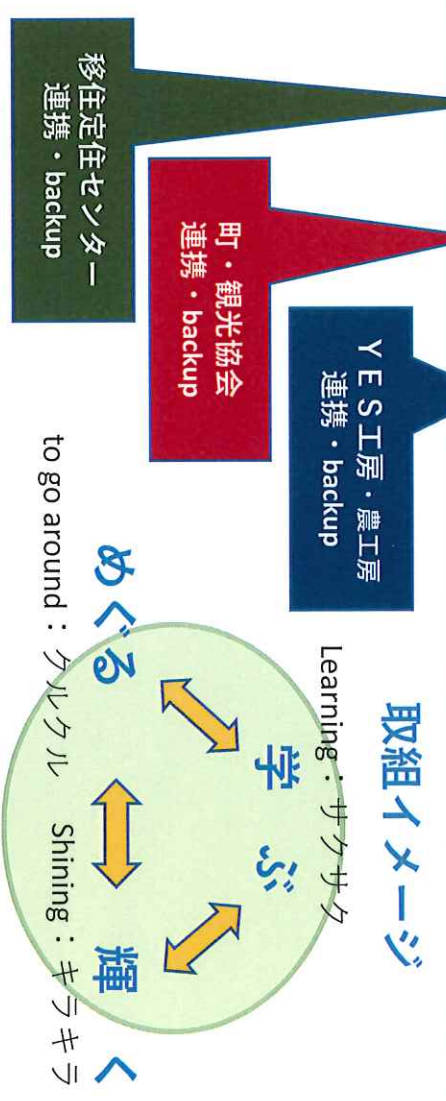
- ・ これまでの事業活動でつながったネットワークを生かし、教育旅行やリカレント教育、インターシップなどの研修プログラムの拡充（グローバル人材アカデミアの構築）
- ・ 新たな交流ビジネスにつながる戦略的な事業を促進し、地域の活性化及びネットワークの構築
- ・ スポーツ合宿などを地域ぐるみで受入れる態勢づくり

③ 里山体験ランド構想の促進

- ・ 入谷地区を核に、学びと創造力を高める交流型の「居心地のいい国」をつくる構想プランの取り組み（別添イメージ図参照）
- ・ 地域内外の受入態勢づくりは、入谷の里山活性化協議会が中心となり、関係者の連携を深めながら展開していく。（その協議会の事務局を担うこと）

### ワークーション等交流促進事業推進体制

| 役職    | メイン         | サブ      |
|-------|-------------|---------|
| 総括責任者 | 代表理事 阿部忠義   | 理事 阿部博之 |
| 運営責任者 | 研修チーム 佐藤慶治  | 総務 橋本智崇 |
| 会計責任者 | 総務リーダー 千葉智恵 | 総務 遠藤悠生 |
| 監査役   | 監事 鈴木清美     |         |



【事業目的】

- ① テレワークの浸透による働き方の多様化も踏まえ、場所にとられない柔軟な働き方としてワークーションを普及させることにより、新たに都市から地方へ人の流れを生み出すきっかけをつくること。併せて、移住促進（二拠点生活）にもつなげていくこと。
- ② 学校や企業、地域が運動する交流型振興事業を推進するとともに、スポーツ合宿や防災学習など、南三陸ならではの宿泊研修事業を促進し、地域全体の経済・波及効果を図っていくこと。

【期待される効果】

- ① ワークーションは、より多くの旅行機会の創出など、働く場所の自由度を高め経営課題解決への寄与、地方創生等にも資する取組になっていく。
- ② 南三陸にどっぷりはまる仕掛けで、南三陸ファン、将来の移住へもつながっていくことが期待される。
- ③ スポーツ合宿等で売上を伸ばし、地域全体の波及効果につながり経済効果が期待できる。

# 地域おこし協力隊の各事業取り組みイメージ

協力隊の  
将来

1年目 20%

2年目 20%

3年目 20%

## ラーケー シヨン業務

### ① ラーケーシヨン受入態勢整備及び事業促進

- ①ラーケーシヨン機能の環境整備 ②実証実験による環境を整えていく ③仕組みを確立する
- ①休暇の楽しみ方を提案・研究 ②掘り起こし・実証実験 ③地域の受入態勢を整備する
- ①二拠点生活を想定した環境づくり ②お試し二拠点生活 ③移住促進につなげる

- ・ラーケーシヨン機能の充実
- ・バケーションの充実及び地域の受入態勢整備
- ・二拠点生活（移住）を想定した環境づくり

1年目 70%

2年目 50%

3年目 50%

## 教育プログラ ム開発と営業

### ② 学校、企業、地域が連動する交流型振興事業の促進／業績200%目標

- ①大学や企業等の顧客データ整理 ②大正大学コンソーシアム自治体との交流促進 ③学びでつながる取り組みの強化と仕組みを確立する（全国的なネットワークの構築）
- ①教育旅行プログラムの拡充、学生インターシップの受入 ②リカレント教育の研究、南三陸の特性を生かした教育プログラムの確立 ③グローバル人材の育成プログラム開発と仕組みを確立する
- ①新たな交流ビジネスの促進 ②左記の実証実験やイベント開催 ③新ビジネスを確立する
- ①スポーツ・文化・アート・モノづくり合宿の受入 ②地域ぐるみの受入態勢整備 ③業績アップ

- ・つながりを生かした取り組み
- ・研修プログラムの充実
- ・新たな交流ビジネスの創出
- ・各種合宿の受入体制整備

1年目 10%

2年目 30%

3年目 30%

## 地域づくり 業務

### ③ 里山体験ランド構想の促進（入谷の里山活性化協議会：当法人事務局）

- ①入谷地区を核に、学びと創造力を高める交流型の「居心地のいい国」をつくる構想プランの取り組みスタート ②段階的に具現化していく ③訪れる人も住む人も「居心地のいい地域」を実現する
- ①入谷の里山活性化協議会が中心となり、地域の受入体制を整備 ②関係者の連携を深めながら展開する ③風通しが良く、居心地のいい里山地域をつくる

- ・地域活性化の取り組み
- ・里山活性化協議会の運営（協議会の事務局を担う）

当法人の雇用延長又は、業務委託により、業績アップに尽力いただく。